

一般財団法人京都市上下水道サービス協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 向畑秀樹

2 所在地

京都市右京区梅津霖原町 16 番地

3 電話番号

075-871-8300

4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-wssa.or.jp/>

5 設立年月日

昭和 48 年 3 月 28 日

6 基本財産

16,000 千円（うち本市出えん額 4,000 千円，出えん率 25.0%）

7 事業目的

円滑な給水の確保，生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため，京都市及び京都府内の地方公共団体の実施する上下水道事業の運営に協力し，もって市民福祉の向上に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 上下水道事業に係る調査研究及び普及啓発に関すること
- (2) 上下水道施設の設置に係る調査，設計及び工事並びに維持管理に関すること
- (3) 漏水修繕及び漏水調査に関すること
- (4) 水道メーターの点検，取替及び井水検針に関すること
- (5) 水道料金及び下水道使用料等の徴収に関すること
- (6) 災害その他緊急を要する上下水道に係る工事に関すること
- (7) 排水設備（水洗便所を含む。）の整備に関すること
- (8) その他協会の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

上下水道局経営戦略室（TEL075-672-3114）

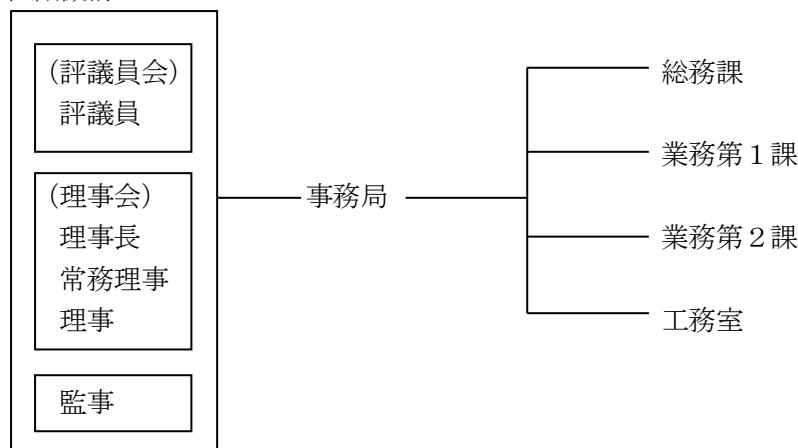
10 役員名等

- (1) 理事長
向畑秀樹
- (2) 常務理事
足立敬三
- (3) 理事
太田達也，中西耕三，糸藤直之（上下水道局経営戦略室長）
- (4) 監事
松波英彦，橋本悟（上下水道局総務部総務課長）

11 常勤職員数

92 人（うち本市派遣職員 0 人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成30年度決算

(1) 事業報告

平成30年度は、公益目的支出計画に基づき、公益目的事業として本市上下水道局と連携して行う市民啓発事業を実施するとともに、特定寄附金については、年次計画額を上回る額を支出した。その他事業については、水道部門では、24時間対応の漏水修繕作業を実施するとともに、従前のリークゾーンテスターから管路音圧システムに変更した漏水調査作業についても計画どおり実施するなど、その他水道関連業務においても着実に業務を実施した。下水道部門では、排水設備工事責任技術者試験に係る受験者講習等を実施し、知識・技能を有した京都府内の排水設備工事責任技術者の育成に貢献するとともに、京都市内の排水設備しゅん工検査・技術指導を適正に実施することによって、厳正な排水設備工事施行に貢献した。

実施事業の概要は、次のとおりである。

ア 自主事業

上下水道施設の一般公開等において配布する啓発物品等の作製

イ 京都市からの受託業務の内容

- (ア) 漏水修繕作業
- (イ) 設備補修作業
- (ウ) 検定期限満了メーター及び故障・難読メーター取替及び休日開閉栓業務
- (エ) 配水幹線用仕切弁、空気弁、同弁室の点検清掃及び整備作業
- (オ) 弁栓類等位置確認調査及び点検作業
- (カ) 水圧測定作業
- (キ) リークゾーンテスターによる漏水調査作業
- (ク) 漏水調査作業
- (ケ) 水道料金及び下水道使用料未納整理業務
- (コ) 鳥羽普及啓発業務
- (サ) 排水設備の接続ます位置設定等業務
- (シ) 下水道接続勧奨業務
- (ス) 排水設備工事確認申請書受付及び検査業務
- (セ) 井水等使用量認定業務
- (ソ) 水洗便所築造工事資金貸付金償還金等の徴収業務
- (タ) 貯水槽水道管理状況調査及び貯水槽の適正管理の指導業務

ウ その他

- (ア) 排水設備工事責任技術者試験、登録及び更新講習業務
- (イ) 京都市下水道排水設備指針販売業務

(2) 財務諸表

貸借対照表
平成31年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	82	82	△0
普通預金	245,869	175,748	70,121
未収金	288,199	335,855	△47,656
原材料	23,716	23,012	704
商品	13	73	△60
立替金	224	0	224
仮払金	78	103	△25
流動資産計	[558,181]	[534,874]	[23,307]
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産	16,000	16,000	0
基本財産合計	(16,000)	(16,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付積立準備預金	141,715	143,495	△1,780
引継退職預金	6,861	6,861	0
特定資産合計	(148,576)	(150,356)	(△1,780)
(その他の固定資産)			
建物	65,655	68,867	△3,212
建物付属設備	5,422	6,938	△1,515
構築物	3,363	4,072	△709
造作	3,248	3,410	△162
車両運搬具	22,074	24,350	△2,276
機械装置	5,749	4,711	1,038
工具	1,367	1,162	205
器具備品	2,513	3,633	△1,120
ソフトウェア開発金	3,657	5,887	△2,230
保証金	50	50	0
その他固定資産合計	(113,098)	(123,079)	(△9,980)
固定資産合計	[277,675]	[289,435]	[△11,760]
資産合計	835,856	824,309	11,547
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	73,729	72,160	1,569
預り金	9,003	8,561	442
未払法人税等	3,258	8,045	△4,787
未払消費税等	7,282	3,491	3,791
流動負債合計	[93,272]	[92,258]	[1,014]
2. 固定負債			
退職給付引当金	141,715	143,495	△1,780
引継未払退職債務	6,861	6,861	0
固定負債合計	[148,576]	[150,356]	[△1,780]
負債合計	241,848	242,614	△766
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	4,000	4,000	0
指定正味財産計	[4,000]	[4,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(4,000)	(4,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[590,008]	[577,695]	[12,313]
(うち基本財産への充当額)	(12,000)	(12,000)	(0)
正味財産合計	594,008	581,695	12,313
負債及び正味財産合計	835,856	824,309	11,547

正味財産増減計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2	2	0
事業収益	1,045,193	1,073,505	△28,312
雑収益	3,782	4,453	△671
経常収益計	1,048,977	1,077,960	△28,983
(2) 経常費用			
事業費	1,032,359	994,665	37,694
管理費	1,046	1,056	△9
経常費用計	1,033,406	995,720	37,685
当期経常増減額	15,571	82,240	△66,669
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	15,571	82,240	△66,669
法人税・住民税・事業税等	3,258	8,045	△4,787
当期一般正味財産増減額	12,313	74,195	△61,882
一般正味財産期首残高	577,695	503,500	74,195
一般正味財産期末残高	590,008	577,695	12,313
II. 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,000	4,000	0
指定正味財産期末残高	4,000	4,000	0
III. 正味財産期末残高	594,008	581,695	12,313

2 令和元年度事業計画

(1) 事業計画の概要

令和元年度は、公益目的支出計画に基づき、京都市上下水道局と連携して行う市民啓発事業を実施するとともに、京都市に対する公的目的支出計画に係る特定寄附を計画どおり実施する。また、公共性、公益性及び機動性を発揮し得る組織として、24時間対応の漏水修繕作業をはじめとしたその他事業を確実に実施していく。

今後、公益目的支出計画を安定的かつ確実に実施していくための財源確保などから、協会経営をとりまく環境は厳しさを増すと考えられるが、一層の経費削減と効率的な業務運営を図り、更なる経営体質の安定強化に努め、当協会の設立目的である市民福祉の向上に引き続き寄与していく。

ア 上下水道事業に係る調査研究及び普及啓発に関する業務

(ア) 上下水道施設の一般公開等において配布する啓発物品等の作製

(イ) 鳥羽普及啓発業務

イ 上下水道施設の調査に関する業務

(ア) 水圧測定作業

(イ) 下水道接続勧奨業務

(ウ) 排水設備工事確認申請書受付及び検査業務

(エ) 貯水槽水道管理状況調査及び貯水槽の適正管理の指導業務

ウ 上下水道施設の維持管理に関する業務

(ア) 配水幹線用仕切弁、空気弁、同弁室の点検清掃及び整備作業

(イ) 弁栓類等位置確認調査及び点検作業

(ウ) 設備補修作業

エ 漏水修繕及び漏水調査に関する業務

(ア) 漏水修繕作業

(イ) 管路音圧監視システムによる漏水調査作業

(ウ) 漏水調査作業

オ 水道メーターの取替及び井水認定並びに水道料金及び下水道使用料等の徴収等に関する業務

(ア) 検定期限満了メーター及び故障・難読メーター取替及び休日開閉栓業務

(イ) 水道料金及び下水道使用料未納整理業務

(ウ) 井水等使用量認定業務

(エ) 水洗便所築造工事資金貸付金償還金等の徴収業務

カ その他当協会の目的を達成するために必要な事業

(ア) 排水設備工事責任技術者試験、登録及び更新講習業務

(イ) 京都市下水道排水設備指針販売業務

(2) 予算

正味財産増減予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	10	10	0
事業収益	1,042,740	1,013,650	29,090
雑収益	2,550	2,540	10
経常収益計	1,045,300	1,016,200	29,100
(2) 経常費用			
事業費	1,048,790	1,020,060	28,730
管理費	1,510	1,140	370
経常費用計	1,050,300	1,021,200	29,100
当期経常増減額	△5,000	△5,000	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	1	1	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	1	1	0
当期経常外増減額	0	0	0
3. 予備費	1,000	1,000	0
当期一般正味財産増減額	△6,000	△6,000	0
一般正味財産期首残高	571,695	497,500	74,195
一般正味財産期末残高	565,695	491,500	74,195
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,000	4,000	0
指定正味財産期末残高	4,000	4,000	0
III. 正味財産期末残高	569,695	495,500	74,195

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	1,033,115	1,077,960	1,048,977	1,045,300
	当期経常増減額	62,477	82,240	15,571	△5,000
	当期正味財産増減額	62,307	74,195	12,313	△6,000
貸借対照表	総資産	744,358	824,309	835,856	/
	総負債	236,857	242,614	241,848	
	正味財産	507,500	581,695	594,008	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
委託料	水圧測定作業	33,720	36,207	36,491	
	設備補修作業	28,850	38,256	45,484	
	配水幹線用仕切弁, 空気弁, 同弁室の点検清掃及び整備作業	20,608	20,652	23,437	
	弁栓類等位置確認調査及び点検作業	29,493	30,304	32,928	
	漏水修繕作業	452,321	466,477	415,435	
	リークゾーンテスターによる漏水調査作業	38,507	37,456		
	管路音圧監視システム漏水調査			43,110	
	漏水調査作業	73,363	74,926	75,731	
	検定期限満了メーター及び故障・難読メーター取替及び休日開閉栓業務	208,517	221,446	236,860	
	水道料金及び下水道使用料未納整理業務	59,133	56,406	53,857	
	下水道接続勧奨業務	23,112	20,412	20,736	
	排水設備工事確認申請書受付及び検査業務	58,283	60,648	60,135	
	井水等使用量認定業務	53,477	65,091	53,302	
	鳥羽普及啓発業務	17,005	16,615	16,607	
	排水設備の接続ます位置設定等業務	62	81	105	
	京北地区下水道接続勧奨業務	1,620			
	水洗便所築造工事資金償還金等の徴収業務	369	180	280	
	貯水槽水道管理状況調査及び貯水槽の適正管理の指導業務	3,607	6,340	6,586	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none">・ 職員の配置を適正に行い、退職者の補充を控えることで人件費を削減するとともに、作業用消耗品などの経費を抑制したことなどから、平成30年度の当期正味財産増減額は黒字となっており、経営努力が認められる。
事業面	<ul style="list-style-type: none">・ 漏水事故に伴う市民生活等への影響を最小限にとどめるため、24時間対応緊急体制をはじめとする本市からの受託業務を迅速かつ効率的に実施することにより、水道・下水道事業の基本である「水」の安定供給や良質な水環境の保全に貢献している。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none">・ 効率的な経営を行っており、当期経常増減額の黒字を継続している。・ 平成30年度は、公益目的支出計画に基づく本市への特定寄附について15年分を前倒しで行うなど、財務面で現状問題はない。
事業面	<ul style="list-style-type: none">・ 本市から受託する上下水道に係る各種業務を着実に遂行し、引き続き市民への水の安定供給や良質な水環境の保全、市民サービスに取り組んでいくことが重要である。